

守山フォトクラブ作品展



思い描いた一瞬の風景 会員集大成の力作26点

市内のアマチュア写真愛好家で構成するクラブで、一年間の集大成となる作品展を開催。同クラブでは、思い描いた瞬間を撮影するために、何度も足を運んだり、時間をかけて撮影したりと、写真本来の魅力を追求しています。会場には26点の力作が展示され、来場者は一点ずつ足を止めて、お気に入りの一枚に見入っていました。

10月7日～11日 あまが池プラザ

第57回 守山市美術展覧会



6部門の作品が一堂に 思い思いの鑑賞で芸術の秋を堪能

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門で、市展賞や特選に輝いた作品を含む147作品と、無鑑査、審査員、招待、展覧会委員の54作品を一堂に展示。訪れた大勢の市民は、ゆっくりと会場を歩いたり、審査員の講評や解説を聴きながら鑑賞会に参加したりと、思い思いに鑑賞しながら芸術の秋を堪能していました。

10月3日～11日 市民ホール

弥生人養成講座 弥生織り



初夏から準備した弥生織りの実践 手づくりの糸から布が生まれる

考古学の視点から古代の機織りの技術を学んだ後、初夏からカラムシの繊維取りや糸作など準備を進めてきた参加者が、古代の織り機で織りの実践に挑戦。たて糸と横糸を丁寧に操り、少しずつ布が織られていきました。初参加者は「すごく難しいけれど分かりやすい。古代の生活という知らない世界を学ぶのは楽しい」と話していました。

10月10日 下之郷史跡公園 環濠保存施設

市内保育室が「しが自然保育」に認定



思いっきり、五感を使って触れ合おう 自然遊びは楽しいな

森林や川、湖などの自然のつながりを重視し、野外での保育活動を積極的に行うことで認定される「しが自然保育」に、市内で初めて家庭的保育室 はぐ・HUGが認定され、認定式が行われました。その後、園児たちがかけっこで山のぼりをしたり、森の中を探検したり、虫探しをしたり、自然と触れ合うことで命の大切さや自然の楽しさを学びました。

10月8日 びわこ地球市民の森

守山市の人口

令和8年9月30日現在
(前月比)

人口	86,043 (－ 17)
男	42,251 (+ 3)
女	43,792 (－ 20)
世帯数	36,387 (+ 38)

が潜む近所の堤防で、すかさずと草を踏み分け、チキと飛び出したトノサマバッタやショウリョウバッタを、また枯れ草の隙間をカサカサと逃げるコオロギを、網を持って追いかけて回しています▼ある程度捕まえて満足すると、しゃがんで虫かごをのぞき込み、じっと観察を始めたらしめます。その姿は、小さい頃の自分の記憶を親の視点から見ているようだとしみじみとした気持ちになります▼子育ては人生の追体験とはよく言ったもの。バッタ捕りの記憶なんて、息子がいなければ一生思い出さなかったでしょう。自分の人生を思い返せば、良いこと悪いこといろいろありますが、できれば子どもには良いことだけを体験してほしいです。そんなに甘くはないでしょうが、そう願っています。



4歳の息子は、夢中でバッタを捕まえています。たくさん捕まえたバッタを、お母さんにあげています。